おかやま森づくり県民税を活用した事業
使途の方向性：水源の涵養、県土保全などの森林の持つ公益的機能を高める森づくり

次世代につなぐ少花粉の森整備事業

目　的

「伐って・使って・植えて・育てる」という林業サイクルの循環のためには、本格的な利用期を迎えたスギ・ヒノキ人工林の伐採と、少花粉苗木による伐採跡地の再造林を促進する必要があるが、立木販売収入から再造林費用を賄える状況には至っておらず、森林所有者の費用負担が大きいことや林業の担い手不足などにより、林業適地であっても伐採・再造林が行われないケースが散見されます。

このため、伐採・再造林のコスト低減の取組を促進するとともに、着実に再造林が実施される仕組みづくりや、伐採等に伴う災害の未然防止の取組を支援することで、持続的な森林経営を推進します。

令和８年度事業概要

１　事業内容

（１）伐採・再造林低コスト化支援事業　5,800 千円

①ドローン資材運搬促進事業

苗木や獣害対策用資材等をドローンにより運搬する事業体に対し、経費の一部を助成

②デジタル申請推進事業

ＵＡＶにより撮影された画像から作成したオルソ画像またはＧＮＳＳの現地測量データにより測量業務の省力化を図るとともに、データを森林クラウド上に反映させて今後の森林整備促進に活用するため、デジタル技術を活用した補助申請を行った事業体に対して経費の一部を助成

（２）伐採・再造林連携促進事業　218 千円

伐採後の再造林の確保と低コスト化の促進を図るため、伐採事業者と造林事業者をつなぐ仕組みづくり等を話し合う検討会を開催



伐採・再造林の一貫作業

２　令和８年度　おかやま森づくり県民税充当額

6,018 千円

事業担当課：農林水産部治山課（℡086-226-7455）